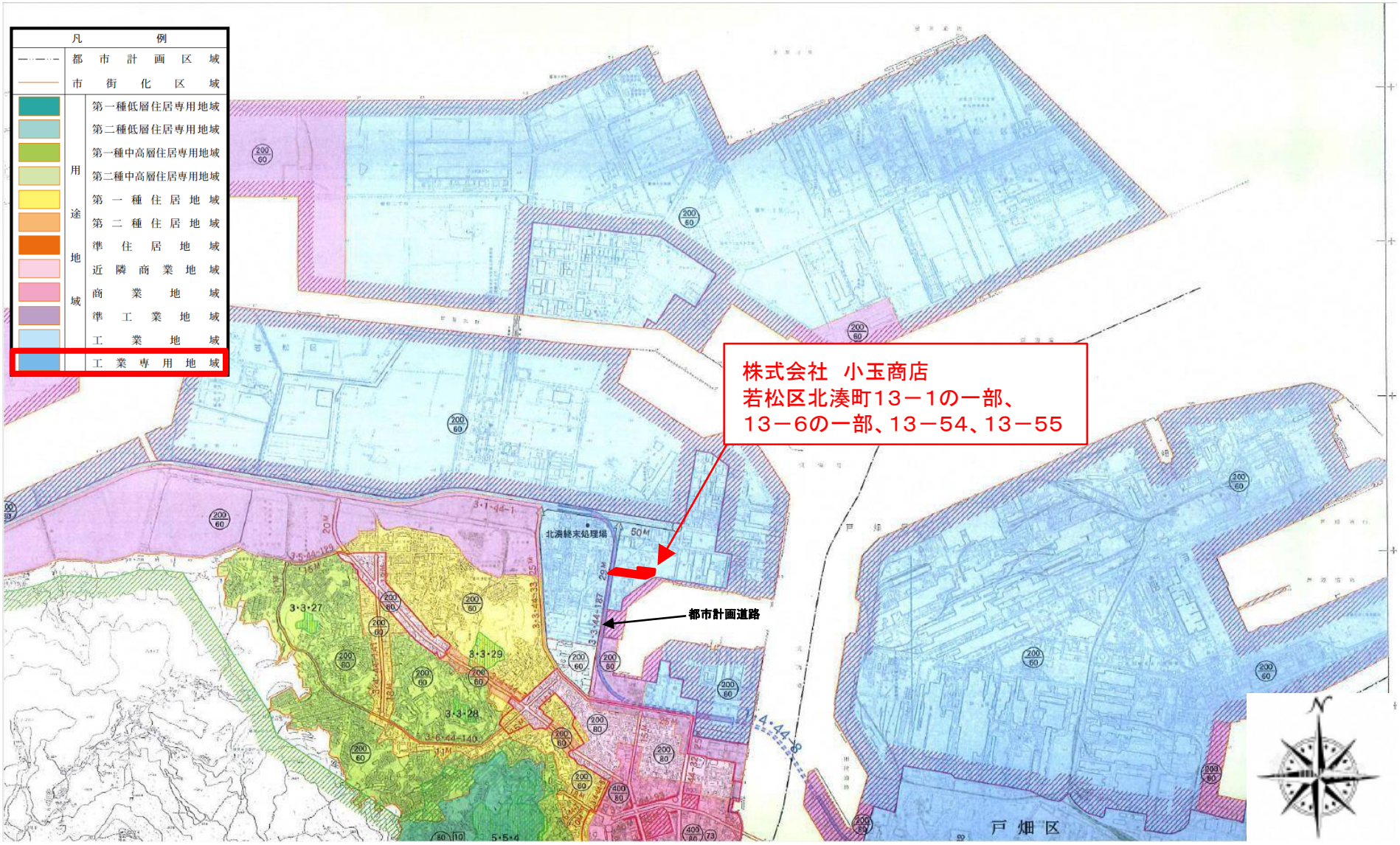
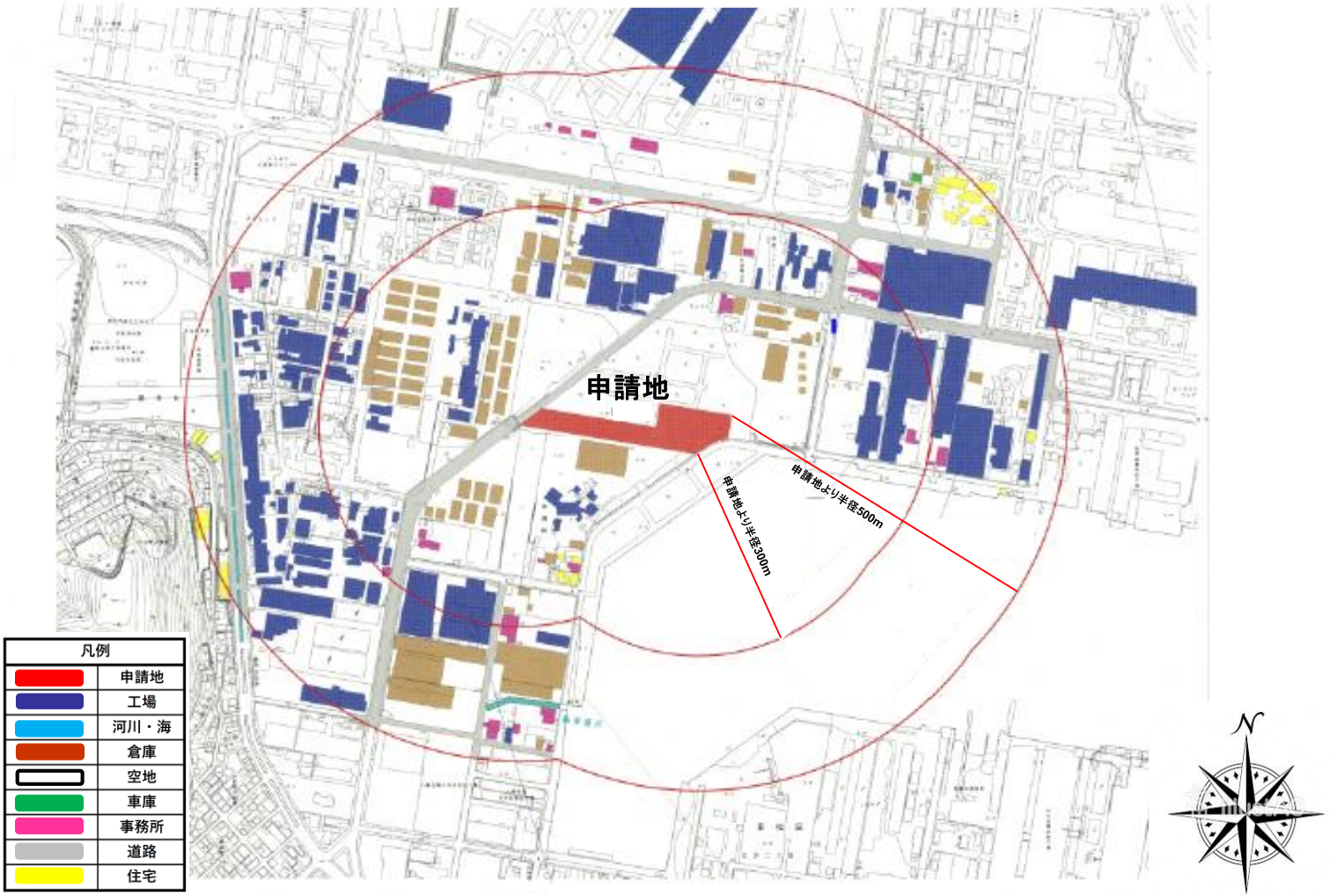
建築基準法第51条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【付近見取図（用途地域図）】



374－1

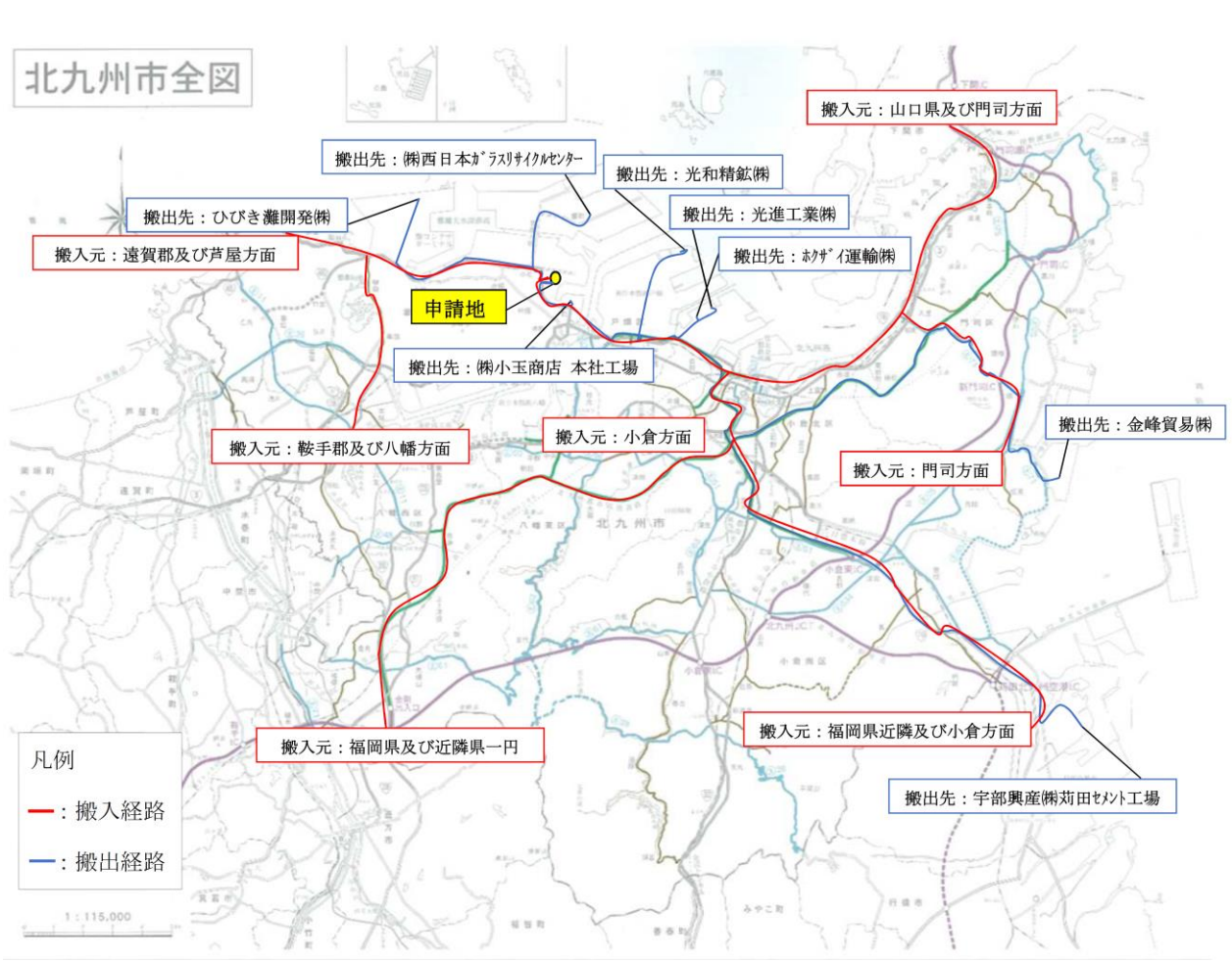
建築基準法第51条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【用途状況図】



建築基準法第51条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【運搬計画】

1．計画概要

廃棄物は北九州市及び近隣県の排出事業者から収集運搬業許可を受けた業者により申請地へ搬入する。
中間処理（破砕、圧縮）後、再利用できる物は事業者へ搬出し、その他の物は最終処分（埋立）を行う。
主な搬入出経路は（都市）高速道路、国道、主要地方道、若戸トンネルを通り、市街地を極力避けた経路を通行する。



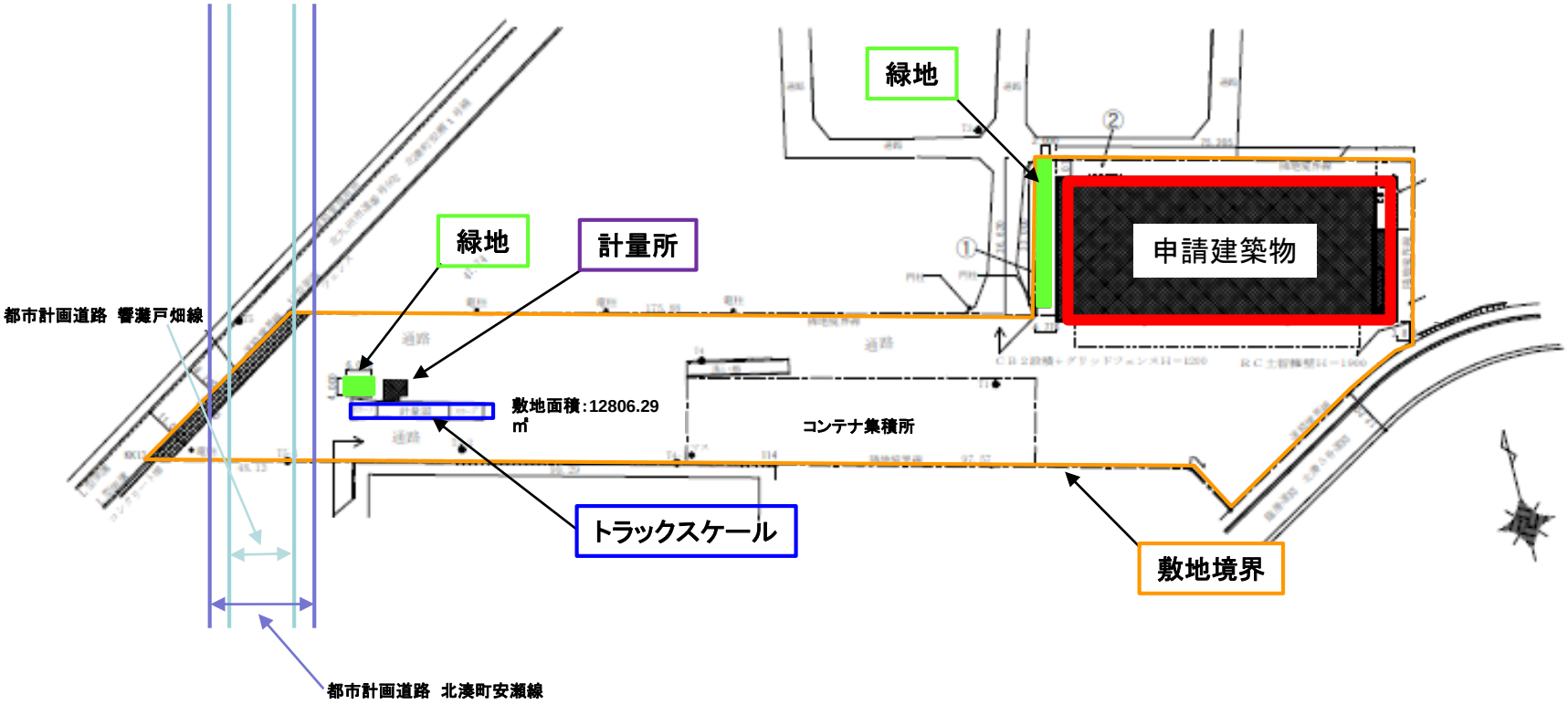
2．運搬計画

（１）搬入出量【24時間稼働の場合】
- ■搬入廃棄物　300t/日
- ■搬出廃棄物　300t/日

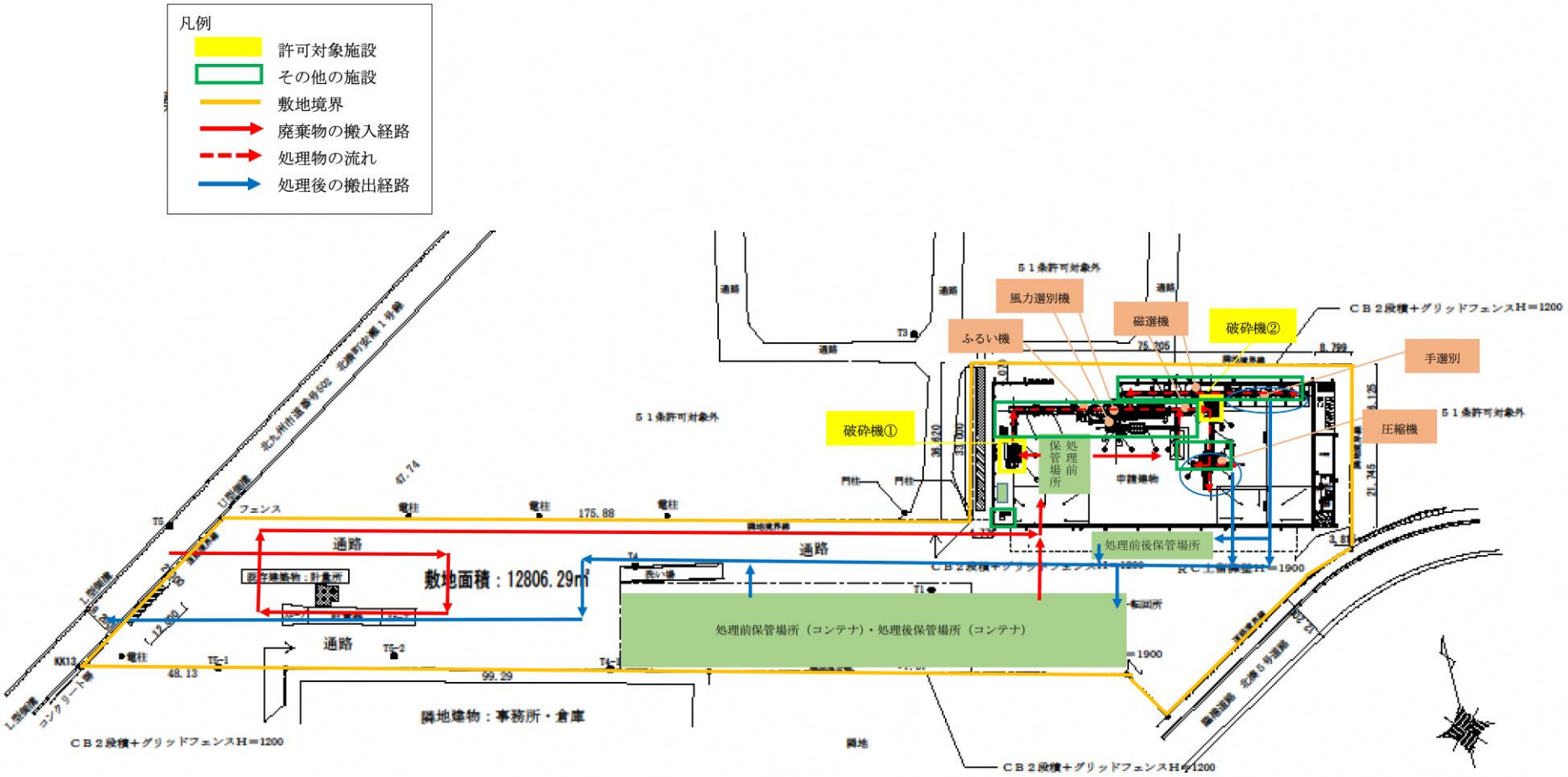
（２）搬出先
- ■金属　㈱小玉商店
- ■廃プラスチック類　金峰貿易㈱、光和精鉱㈱、UBE㈱苅田セメント工場
- ■がれき類　光進工業㈱、ひびき灘開発㈱
- ■木くず　ホクザイ運輸㈱

（３）搬入出台数【24時間稼働の場合】
- ■搬入　１５０台/日
- ■搬出　１５０台/日
- 合計３００台/日

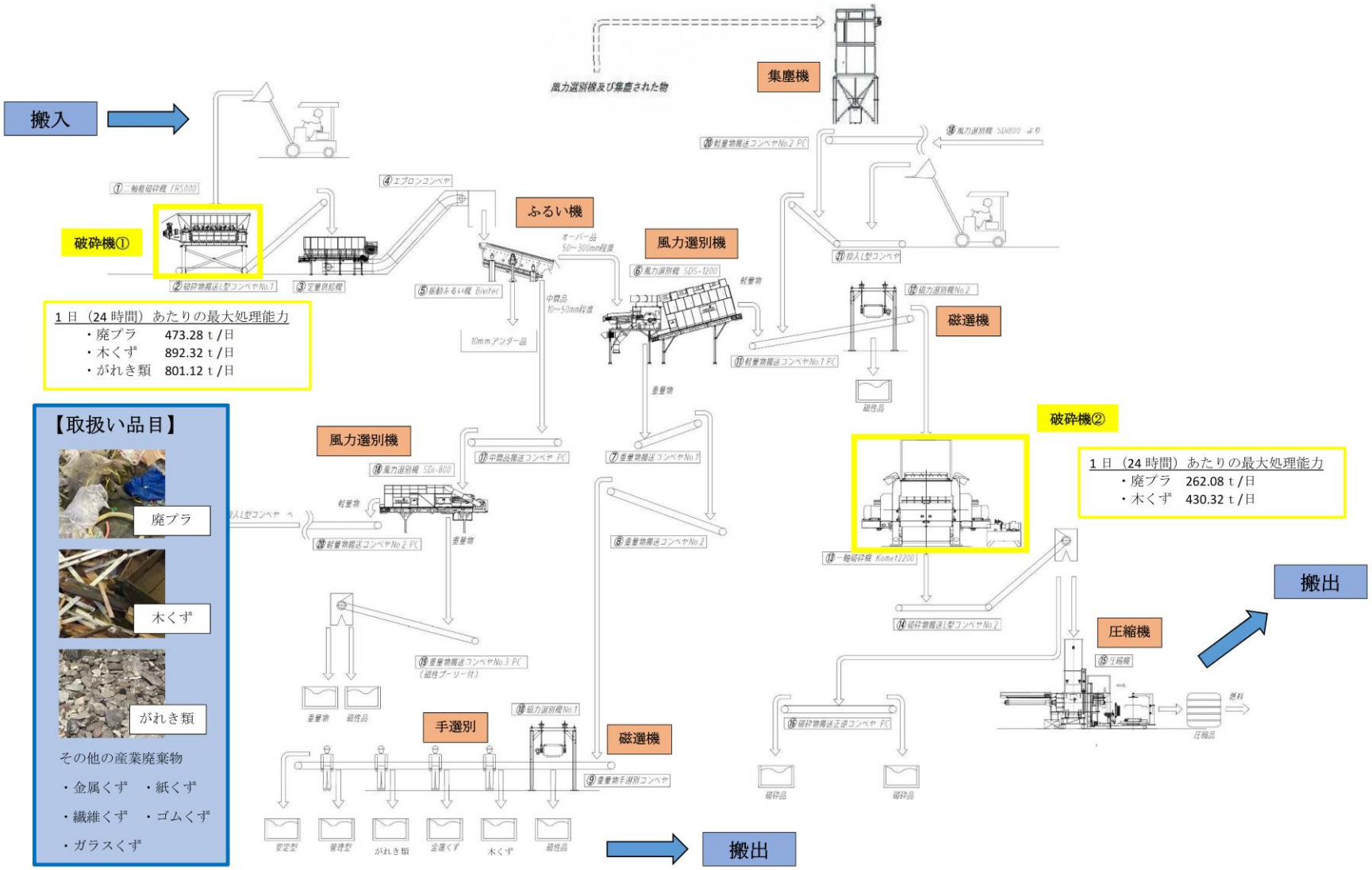
建築基準法第５１条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【配置図】



建築基準法第５１条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【搬入出経路図】



建築基準法第５１条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【処理フロー図】



374－6